

グリーンアンモニア分野の米国スタートアップ Starfire 社への出資について

2021 年 4 月 9 日
大阪ガス株式会社

Osaka Gas USA Corporation

大阪ガス株式会社(社長:藤原正隆、本社:大阪市中心部)の 100%子会社である Osaka Gas USA Corporation(社長:生田哲士)は、この度、再生可能エネルギーを利用し、空気と水から CO₂フリー燃料であるグリーンアンモニア^{*1}の製造技術を開発する Starfire Energy Inc.(CEO:John LoPorto、以下「Starfire 社」)に出資しました。なお、本件は AP ベンチャーズ^{*2}、シェブロン・テクノロジー・ベンチャーズ^{*3}、New Energy Technology^{*4}、米国三菱重工との共同出資になります。

アンモニアは、燃焼しても CO₂を発生しないこと、貯蔵や輸送などで既存インフラ技術を活用できることなどから、化石燃料の代替として注目されており、なかでもグリーンアンモニアは、製造時に CO₂が排出されないことから、脱炭素社会実現に向けた有力なエネルギーの一つとして、早期の製造・供給事業の実現が期待されています。

Starfire 社は、2007 年に米国で設立されたスタートアップ企業で、小型分散型のグリーンアンモニア製造モジュール^{*5}と、アンモニアから水素への分解技術の開発をしています。特に、アンモニア製造については、触媒技術に加え、従来よりも低圧・省エネルギーでかつ、再生可能エネルギーの出力変動に柔軟に対応できる技術を有しており、現在、商用化に向けたスケールアップを目指しています。

Daigas グループは、2021 年 1 月に発表した「カーボンニュートラルビジョン」のもと、今後も脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努め、暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

(※1):再エネ電力、水、空気を原料とし、製造時に CO₂が排出されないプロセスで製造されたアンモニア。

(※2):英国スタートアップ投資ファンド

(※3):米国オイルメジャー シェブロン子会社

(※4):豪州投資ファンド

(※5):大型トレーラーなどで容易に運搬可能で、需要地の近くに設置できる小型のアンモニア製造装置。

以上

【別紙】

＜Starfire 社の概要＞

会社名	Starfire Energy Inc. (Starfire 社)
所在地	米国 コロラド州 デンバー市
代表者	CEO John LoPorto
事業開始	2007 年
主な事業内容	CO ₂ フリー燃料であるグリーンアンモニアの製造モジュール及びアンモニアから水素への分解技術の開発